



# 医療イノベーション5カ年戦略の着実な推進

## 7. 個別化医療(個々人に適応した医療)の推進

32億円

個別化医療とは

患者一人ひとりの体質や病態にあった有効かつ副作用の少ない治療法(オーダーメイド医療)や予防法(個別化予防)のこと

<期待される成果>

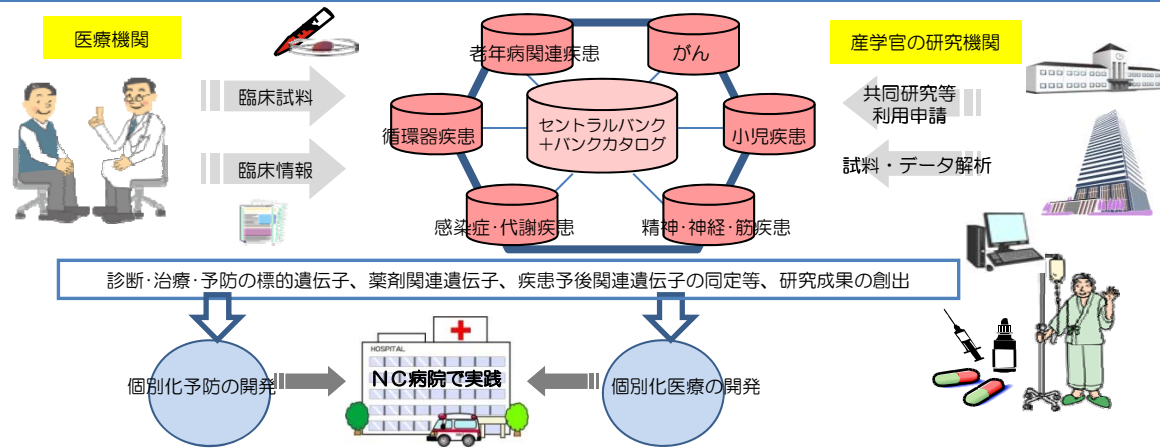
- 先端技術をより安全かつ有効に患者へ提供することができる。
- 医療の質の向上や無駄の削減につながる。
- 医療の国際化が進むことで海外からの需要も期待できる。

### 1) 個別化医療推進のためのインフラ整備及び研究の推進 <患者ゲノムコホート研究推進事業(バイオバンク事業)>

27億円

○ 6箇所の国立高度専門医療研究センター(NC)は、受診患者の血液や組織(病変部位等)などの臨床試料と電子カルテから抽出した精度の高い臨床情報を収集し、データベース(バイオバンク)として整備する。

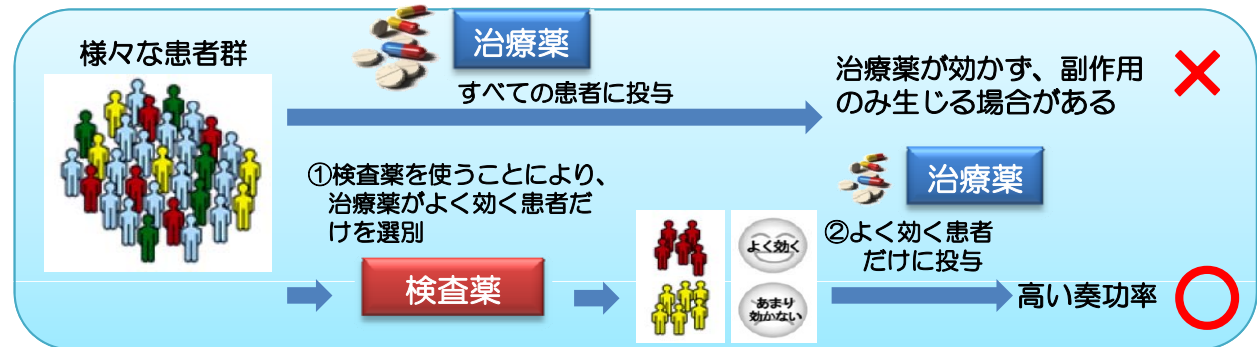
○ バイオバンクの試料・情報は各NCの専門家によって解析されるだけでなく、一定のルールの下で産学官の他施設の研究者にも共同研究等により提供し、医療イノベーションが目標とするナショナルレベルのバイオバンクに貢献する。



### 2) 個別化医療に資する医薬品開発の推進

研究費:5億円

○ 治療薬の効果や副作用を予測し、治療薬の投与が適切な患者の選定を目的とした検査薬の開発を推進する。特に新薬については、**当該検査薬との同時開発・同時審査を推進**する。



検査薬



治療薬

同時開発・同時審査

個別化医療の実現